

FUZZ JAZZ

関根 彰良 Akira Sekine

[ライナーノーツより]

ロックバンドを彷彿させるヘヴィーなりフ、時折jazzフレーズを交えたrockテイストのアグレッシヴな即興フレーズ、ノンリミットな世界が駆け巡りアドレナリンを大放出したかと思えば、クリーントーンでjazzyにplayする一面も。ギターの魅力を最大限に生かし、その音色から恍惚の表情がみえるかのようなのびのびと自由にいいplayをしている。(中略)

これだけじゃない。数曲おきに入っている3曲のアコースティックギターソロがアルバム全体をうまく繋いでいるのが面白い。クラシック、フラメンコを学び影響を受けた彼はアコースティックという最小の音量で、エレクトリックで奏でる最大の音量と同じエネルギーを出せるということを知っている。(中略)

オリジナリティー溢れる“関根彰良ワールド”を見事に作り上げた記念すべきアルバム。ライブに足を運び“生”でこのエネルギーを身体で浴びたい。

おめでとう！ _____ 小沼ようすけ（ギタリスト）

関根 彰良(せきね あきら) ギター

1978年5月5日生まれ。千葉県出身。

幼少の頃より母の影響でクラシックピアノを始める。12歳でギターを手にし、ロックに没頭する。東京大学入学後ジャズに出会い、同大のジャズ研究会に所属しながらプロとしての演奏活動を開始、様々なミュージシャンとセッションを重ねる。文学部美学芸術学専攻を卒業。

2002年から2007年まで西尾健一(tp)グループに在籍、アルバム「Go Ahead, Have Fun!」に参加し全国をツアーする。2009年夏にはNYで活躍中のAnat Cohen(cl, sax)の日本ツアーに参加。これまでの主な共演者は、前田憲男(p)、大口純一郎(p)、池田芳夫(b)、八尋洋一(b)、向井滋春(tb)、竹内直(ts)、村上ポンタ秀一(ds)他多数。

2007年よりフラメンコギターを山崎まさし氏に師事。

現在、自己名義のソロ/トリオでのライブをはじめ、様々なセッションやレコーディング等、ジャズを中心とした幅広いジャンルで活動中。



高橋 佳輝(たかはし よしき) ベース

1986年12月27日生まれ。福岡県出身。

幼少期よりピアノを始め、様々な楽器に触れ合う。

高校時代にベースに転向し、卒業後、渡米。様々なレコーディング、ツアーなどに参加し2007年帰国する。

帰国後は都内を拠点に、セッションベーシストとして幅広く活動中。



福森 康(ふくもり やすし) ドラム

1985年8月4日生まれ。鹿児島県出身。

15歳でドラムを始め、YAMAHA PMSにて大久保重樹氏に師事。

高校在学中より、九州のミュージシャンとのライブ活動やレコーディングに参加。19歳で上京し、上京後、都内のジャズクラブやセッションに参加。

白庭潤をはじめ都内を中心に幅広い年代のミュージシャンとライブ活動、レコーディングなどに参加。